

2024年4月期 上半期

# 決算説明会資料

2023年12月 株式会社 伊藤園



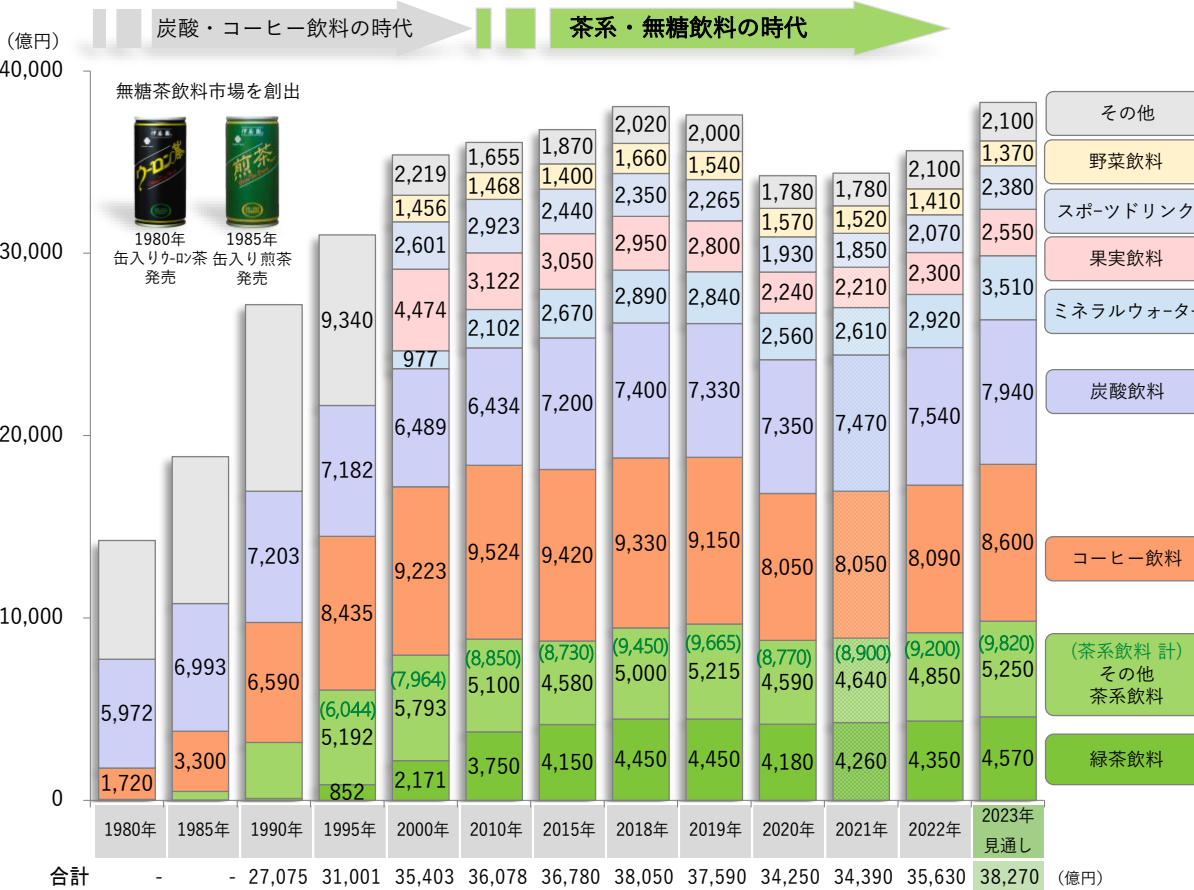
自然が好きです。

国内飲料市場の動向と当社業績・通期予測	P.3
マーケティング戦略・事業戦略	P.10
参考資料	P.22

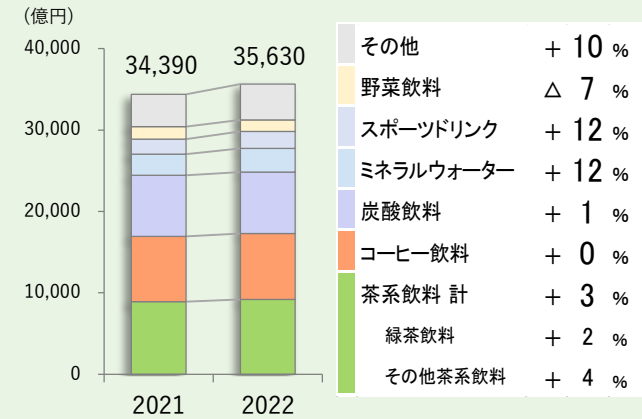
## 国内飲料市場の動向と当社業績・通期予測

# 国内飲料市場の動向

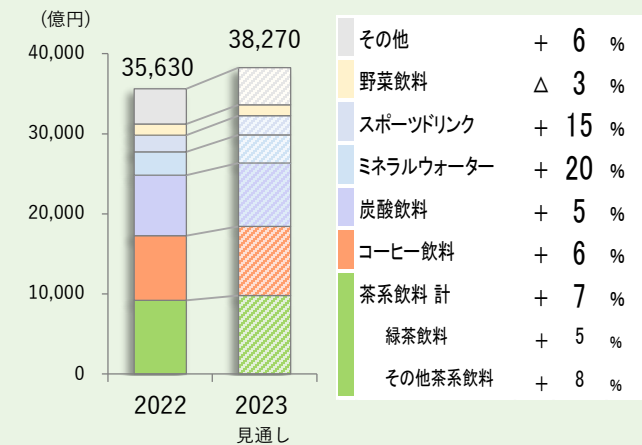
飲料市場の推移（暦年・金額ベース）



2022年 前年比 + 3.6%



2023年 前年比 + 7.4%（見通し）

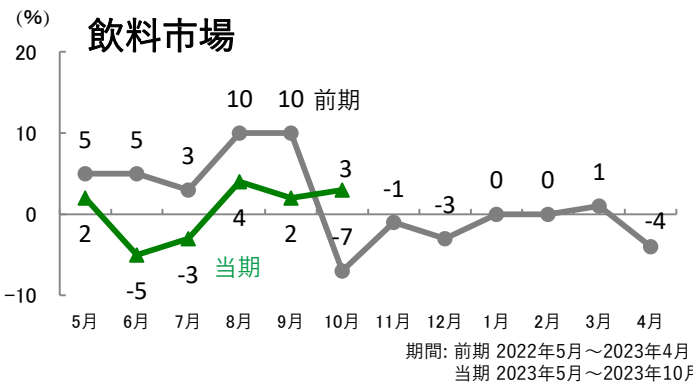
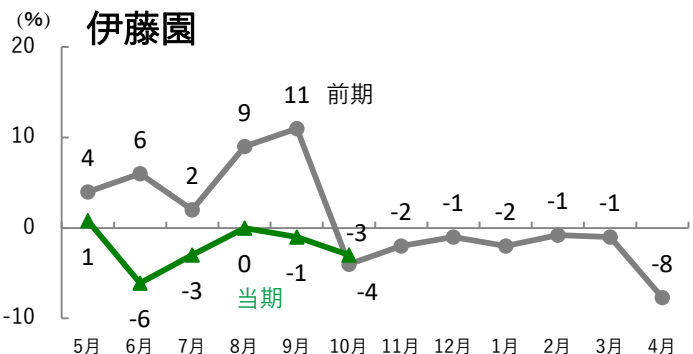


資料：伊藤園

無糖飲料の構成比は伸長を続ける。国内飲料市場のうち 50%以上が無糖飲料。

# 国内飲料市場と当社の動向

## 月次販売数量動向 (対前年増減率)



## 飲料市場環境のトピックス

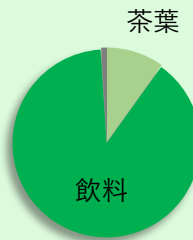
- 2023年
- 5月 人流回復のプラス面、缶製品価格改定に伴うマイナス面が混在。
  - 6月 前年の好天候の反動、価格改定による数量減。
  - 7月 天候に恵まれたが、価格改定の影響が継続。
  - 8月 猛暑の影響により止渴性飲料中心に増加。カテゴリーで明暗が分かれた。
  - 9月 継続的な猛暑が追い風となり、引き続き止渴性飲料増加。
  - 10月 前年の価格改定による数量減の反動でプラス。

資料: 伊藤園

## 伊藤園 (単独) 2024年4月期上半期 (2023年5月~10月)

	増減率
売上高	+ 7 %
茶葉 (リーフ)	+ 6 %
飲料 (ドリンク)	+ 7 %
他	- 5 %

金額ベース



構成比



茶葉9%

飲料90%

他1%

## 飲料(ドリンク) 販売数量

(単位: 万ケース)

カテゴリー	2023年4月期			2024年4月期		
	実績	構成比	増減率	実績	構成比	増減率
飲料 (ドリンク)	12,418	100%	+ 5 %	12,169	100%	△ 2 %
茶系飲料計	8,848	71%	+ 5 %	8,706	72%	△ 2 %
日本茶	8,100	65%	+ 6 %	7,892	65%	△ 3 %
中国茶	467	4%	△ 4 %	498	4%	+ 7 %
その他	281	2%	+ 9 %	315	3%	+ 12 %
野菜飲料	1,449	12%	△ 9 %	1,307	11%	△ 10 %
コーヒー飲料	892	7%	+ 11 %	890	7%	△ 0 %
ミネラルウォーター	380	3%	+ 6 %	353	3%	△ 7 %
炭酸飲料	318	3%	+ 37 %	358	3%	+ 13 %
果実飲料	241	2%	+ 6 %	272	2%	+ 13 %
その他飲料	285	2%	+ 28 %	280	2%	△ 2 %

2024年4月期上半期 無糖飲料比率 75%以上

# 2024年4月期 上半期実績

上半期 累計 (2023年5月～10月)

		2023年4月期		2024年4月期		増減率
		実績	構成比	実績	構成比	
連 結	売上高	227,262	100.0%	242,527	100.0%	6.7%
	売上総利益	85,211	37.5%	94,371	38.9%	10.8%
	広告宣伝費	5,612	2.5%	5,981	2.5%	6.6%
	運送費	7,751	3.4%	7,558	3.1%	-2.5%
	減価償却費	4,017	1.8%	3,047	1.3%	-24.1%
	販売費及び一般管理費	73,875	32.5%	77,325	31.9%	4.7%
	営業利益	11,335	5.0%	17,046	7.0%	50.4%
	経常利益	12,548	5.5%	18,089	7.5%	44.2%
	特別損益	△ 370	-	△ 784	-	-
	当期純利益	7,923	3.5%	11,209	4.6%	41.5%

		2023年4月期		2024年4月期		増減率
		実績	構成比	実績	構成比	
単 独	売上高	167,752	100.0%	178,861	100.0%	6.6%
	売上総利益	60,397	36.0%	65,907	36.8%	9.1%
	営業利益	9,017	5.4%	13,061	7.3%	44.8%
	経常利益	11,002	6.6%	14,802	8.3%	34.5%

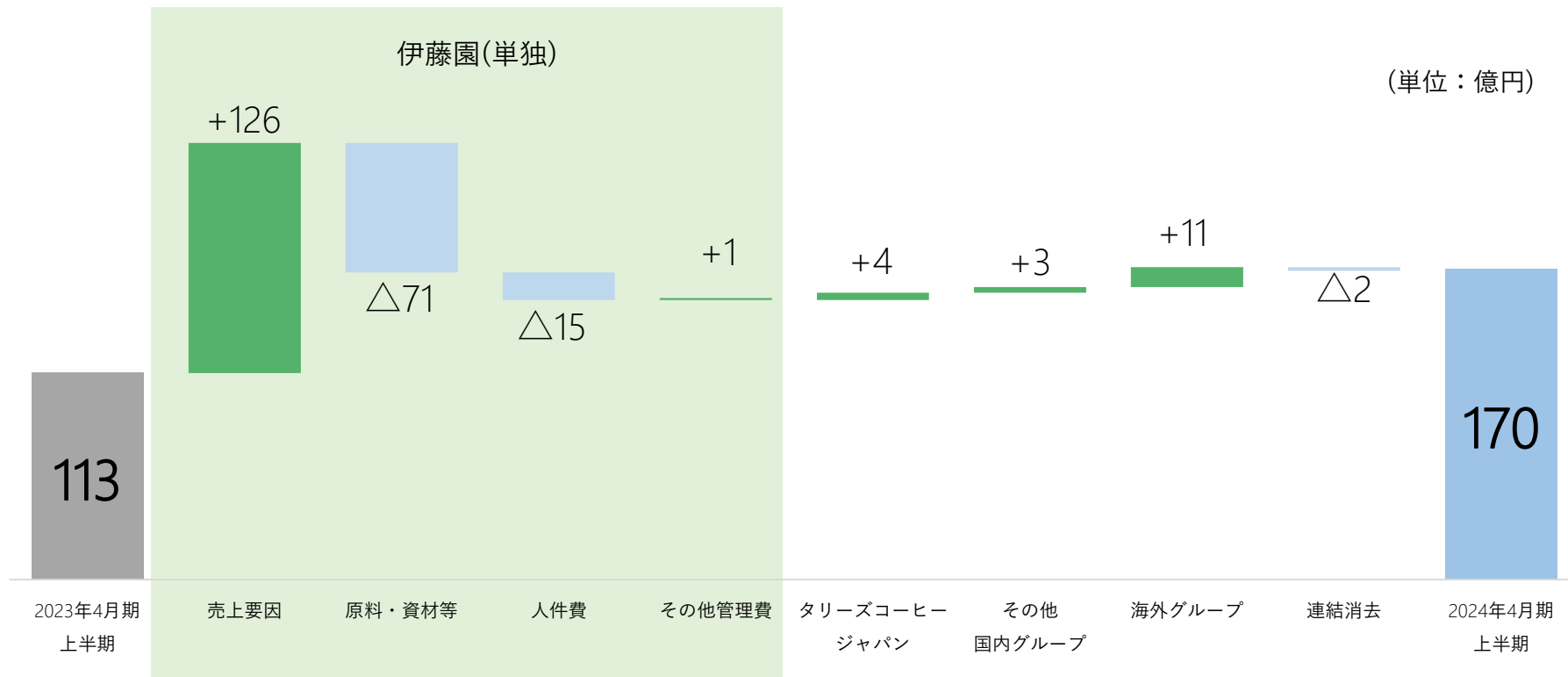
(単位：百万円)

上段：売上高		2023年4月期	2024年4月期	
下段：営業利益		実績	実績	増減率
グ ル ー プ 会 社	国内グループ	49,809	53,285	7.0%
	タリーズ	2,325	3,130	34.6%
	タリーズ	16,963	19,630	15.7%
	タリーズ	1,334	1,794	34.4%
	タリーズ	6,180	6,413	3.8%
	タリーズ	406	650	60.0%
	海外グループ	27,165	27,132	-0.1%
	海外グループ	257	1,387	439.2%
	米国事業	23,922	23,493	-1.8%
	米国事業	△ 321	550	-
米国事業	174,008千ドル	163,465千ドル	-6.1%	
米国事業	-2,337千ドル	3,833千ドル	-	
その他	3,243	3,639	12.2%	
海外事業	578	836	44.6%	
連結消去	△ 17,466	△ 16,752	-	
連結消去	△ 265	△ 533	-	

為替レート (米ドル)                      137.48                      143.72 (期中平均)

## 2024年4月期 上半期実績（連結） 営業利益増減の主な要因

価格改定及び収益改善の取組みにより、原料・資材等の高騰を吸収し利益を確保



### 伊藤園(単独)の増減要因補足

- |                  |      |                  |      |
|------------------|------|------------------|------|
| • 売上増加による影響      | + 39 | • 原料・資材等の高騰による影響 | △ 71 |
| • 容器構成及び製品構成等の変化 | + 86 | • 賃上げによる人件費の増加   | △ 15 |

# 2024年4月期 通期予測

通期（2023年5月～2024年4月）

		2023年4月期		2024年4月期		
		実績	構成比	計画	構成比	増減率
連 結	売上高	431,674	100.0%	450,000	100.0%	4.2%
	売上総利益	165,585	38.4%	173,700	38.6%	4.9%
	広告宣伝費	10,048	2.3%	10,549	2.3%	5.0%
	運送費	14,386	3.3%	14,012	3.1%	-2.6%
	減価償却費	7,921	1.8%	6,295	1.4%	-20.5%
	販売費及び一般管理費	145,996	33.8%	150,500	33.4%	3.1%
	営業利益	19,588	4.5%	23,200	5.2%	18.4%
	経常利益	20,341	4.7%	24,200	5.4%	19.0%
	特別損益	△ 657	-	△ 1,400	-	-
	当期純利益	12,888	3.0%	14,700	3.3%	14.1%

		2023年4月期		2024年4月期		
		実績	構成比	計画	構成比	増減率
単 独	売上高	315,025	100.0%	326,600	100.0%	3.7%
	売上総利益	116,986	37.1%	119,600	36.6%	2.2%
	営業利益	16,785	5.3%	18,400	5.6%	9.6%
	経常利益	18,864	6.0%	20,700	6.3%	9.7%

（単位：百万円）

		2023年4月期		2024年4月期	
		実績	計画	実績	計画
グ ル ー プ 会 社	国内グループ	97,548	103,479	6.1%	
	タリーズ	3,784	4,745	25.4%	
	タリーズ	35,495	39,600	11.6%	
	タリーズ	2,429	2,945	21.2%	
	タリーズ	11,947	12,689	6.2%	
	タリーズ	670	918	36.9%	
	海外グループ	51,252	54,020	5.4%	
	海外グループ	△ 433	1,857	-	
	米国事業	45,361	47,475	4.7%	
	米国事業	△ 1,483	555	-	
	米国事業	333,292千ドル	327,419千ドル	-1.8%	
	米国事業	-10,897千ドル	3,833千ドル	-	
	その他	5,891	6,544	11.1%	
	海外事業	1,049	1,301	24.0%	
	連結消去	△ 32,150	△ 34,099	-	
連結消去	△ 548	△ 1,802	-		

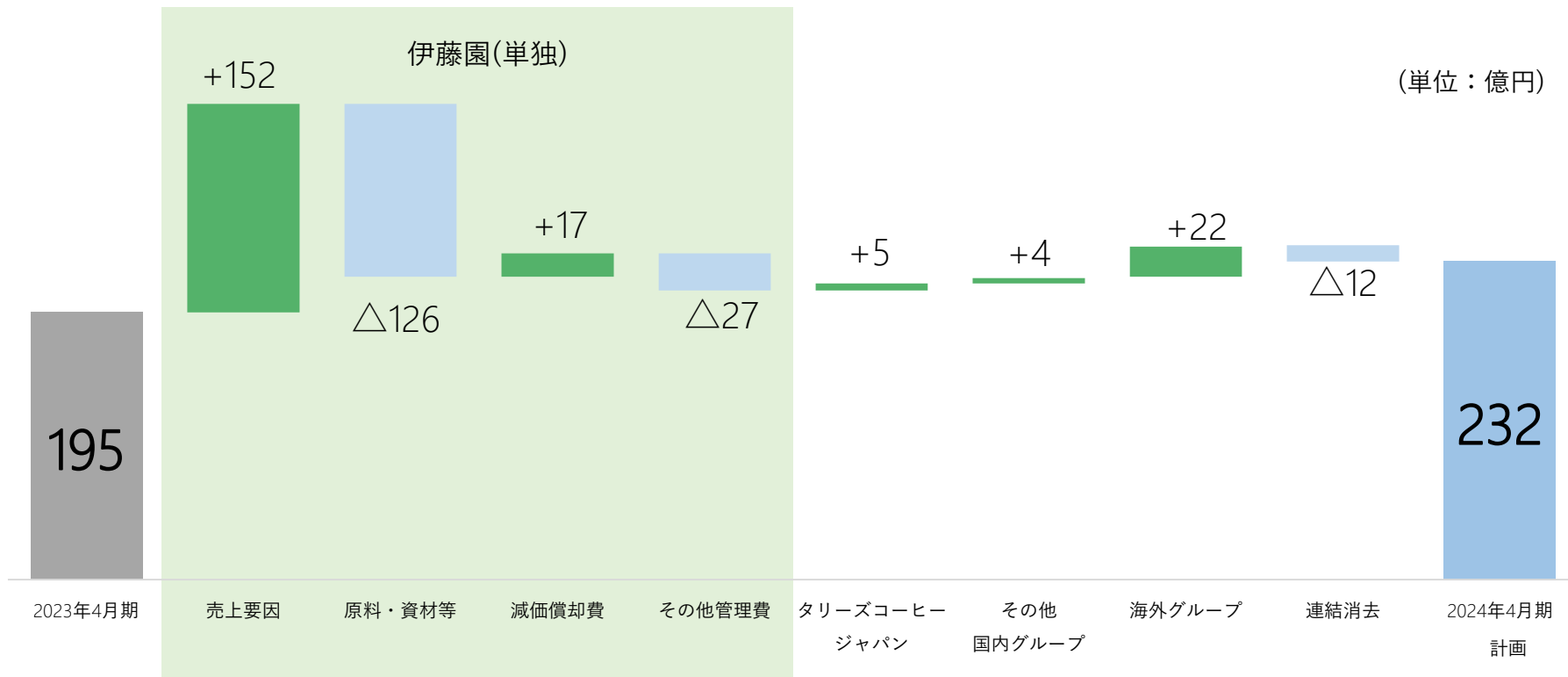
為替レート（米ドル） 136.10 145.00（期中平均）



# 連結 営業利益増減要因 (通期予測)

## 2024年4月期 通期予測 (連結) 営業利益増減の主な要因

原料・資材等の高騰に対し、収益改善を継続して利益確保を目指す



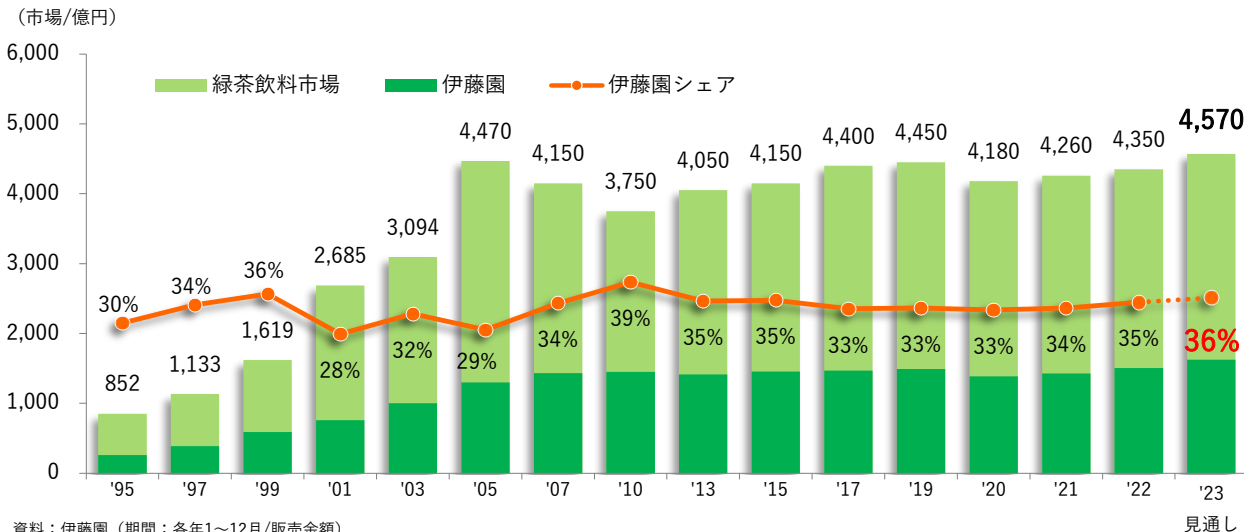
### 伊藤園(単独)の増減要因補足

- |                  |       |                      |      |
|------------------|-------|----------------------|------|
| • 売上増加による影響      | + 42  | • 原料・資材等の高騰による影響     | △126 |
| • 容器構成及び製品構成等の変化 | + 110 | • 自動販売機の耐用年数変更による影響等 | + 17 |

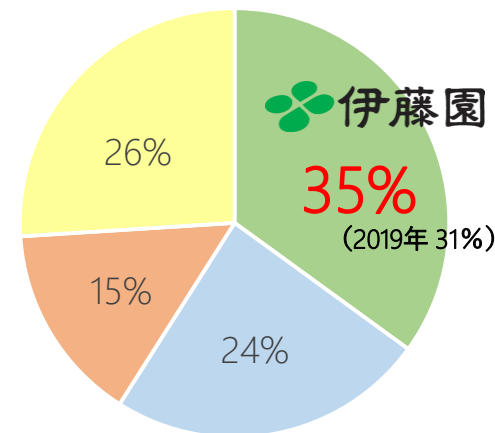
## マーケティング戦略・事業戦略

# 緑茶飲料の動向

## 緑茶飲料市場の推移

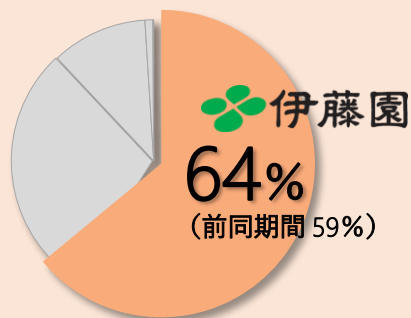


## 無糖茶飲料シェア (2023年見通し)



資料：伊藤園 インテージ SRI+ (期間:2023年1月～12月推計/金額ベース)

## ホット緑茶飲料



## ホット緑茶飲料シェア NO.1

資料：伊藤園 インテージSRI+ (期間：2022年9月～2023年8月/金額ベース)

あたたためても、常温でも美味しい **お〜お茶**  
電子レンジ対応



レンジボトルは100%リサイクルペットボトル使用



9月4日発売

コンビニエンスストア限定

2021年冬季限定販売  
↓  
好評により通年販売  
↓  
レンジボトル追加  
**ホット製品対応**

# 緑茶飲用習慣が無い世代へのアプローチ

全国47都道府県の約400店舗で

大試飲会『10万杯チャレンジ』を実施



「茶業関係者×農林水産省『茶育』プロジェクト」

小・中学校に急須を寄贈



## 伊藤園お〜いお茶新俳句大賞

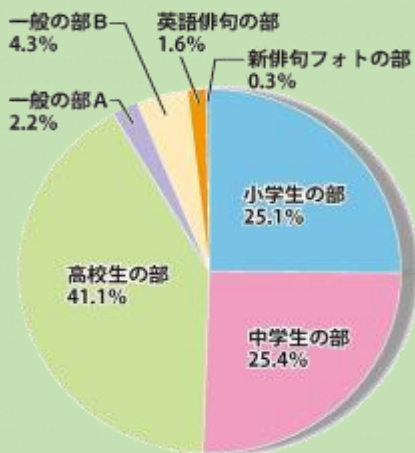
第三十四回

応募句数1,921,404句

小学生・中学生・高校生

91.6%

参加学校数 3,040校



## 伊藤園お〜いお茶新俳句大賞

主催 株式会社伊藤園

句協会 国際俳句協会 NHK学園 NHK文化センター 朝日カルチャーセンター 毎日  
テレビ文化センター 日本国際教育支援協会 日本観光振興協会 日本教育新聞社



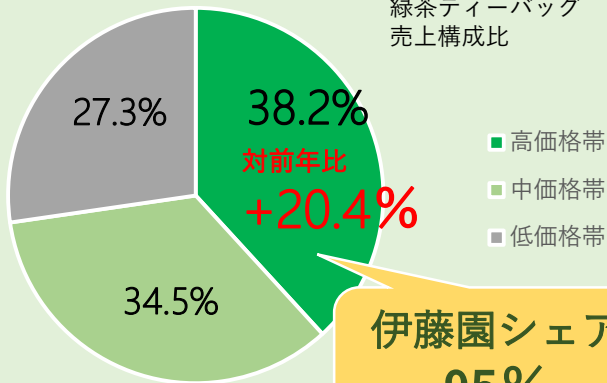
第三十四回伊藤園新俳句大賞  
文部科学大臣賞  
初日の出とても小さい駅で見た  
(大阪府大阪市・8歳・小林航)

緑茶飲用習慣が無い若年層へ飲用機会を広げる取組み

# 緑茶飲用層を広げる簡便性製品

## 高価格帯ティーバッグが好調

緑茶ティーバッグ  
売上構成比



伊藤園シェア  
95%

## 大容量50袋タイプ リニューアル



9月18日  
リニューアル発売



縦95mm  
×  
幅80mm



縦80mm  
×  
幅70mm

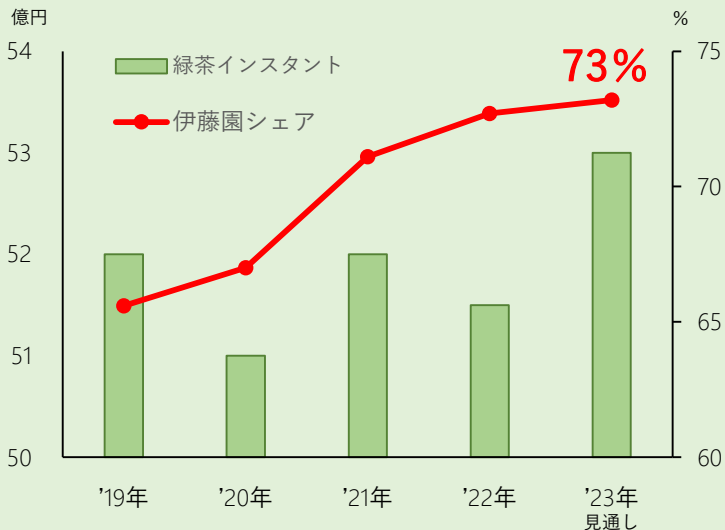
- ・サイズをスマートにして  
カートンの大きさを**25%縮小**→棚・積載効率向上
- ・個包装を紙化、小型化  
→プラスチック使用量削減



2023年10月～伊藤園産業熊谷工場稼働開始  
**ティーバッグ供給能力強化**

資料：伊藤園 インテージ SRI+(期間:2022年1月～12月/金額ベース)

## 伸びしろはインスタント市場



資料：伊藤園 インテージ SRI+(期間:各年1月～12月/金額ベース)

## 特にインスタントは インバウンド需要で好調

インスタント販売 対前年同期比  
(上半期5月～10月/金額ベース)

インバウンドの影響を受ける店舗 **5.4倍**  
空港関連店舗 **4.5倍**



資料：伊藤園



健康価値が分かりやすく、毎日の習慣で手に取ってもらえる製品づくり



## おーお茶 濃い茶

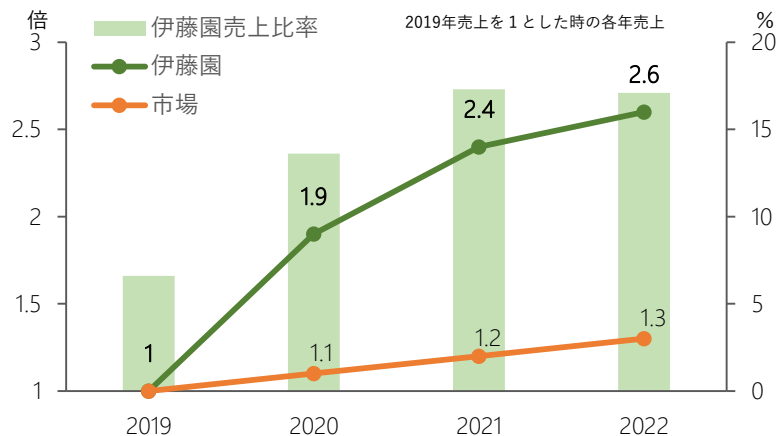
機能性表示食品(飲料)

販売金額 No. 1

※イテージ SRI+ / 機能性表示食品飲料市場 / 2022年 / 累計販売金額

機能性関与成分：ガレート型カテキン340mg  
届出番号：H30

### 機能性表示食品・特定保健食品市場について



資料：伊藤園 (期間 伊藤園5月~4月/市場1月~12月)

## 機能性表示食品の野菜飲料

上半期前年比(金額)+18.6%

上半期対前年+20%  
1本で3つの機能性



機能性関与成分  
難消化性デキストリン  
(食物繊維)、GABA  
届出番号：F959



機能性関与成分  
GABA  
届出番号：H904



機能性関与成分  
グアーガム分解物  
(食物繊維)  
届出番号：H908



機能性関与成分  
GABA  
届出番号：H903

野菜が苦手でも  
野菜不足を手軽に補える

## 健康維持+摂りやすさ+食事パフォーマンス



10月9日発売

すっきりゴクゴク



10月2日発売

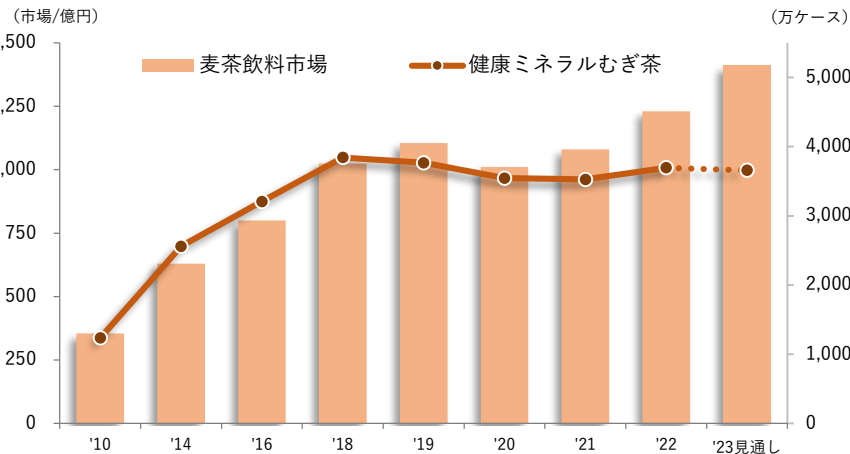
手軽に持ち運び可能、いつもの食事にかけるだけ

長年培った技術と研究を製品づくりに、STILL NOWでお客様のニーズに対応

# ノンカフェイン（無糖）製品

## 健康ミネラルむぎ茶ブランド価値向上

○麦茶飲料市場



飲料・リーフ連動で売り場拡大できるブランド  
赤ちゃんも安心して飲めるブランド



9月11日発売



健康志向による無糖及びノンカフェインの需要が追い風

## ノンカフェイン・無糖+αで個別ニーズに対応

大豆イソフラボン  
糖質・脂質ゼロ

レンチン+濃いめ



9月25日発売

9月11日発売

## 機能性表示食品

※1  
丈夫な骨の維持  
国産大豆  
100%使用



※2※3  
肌の潤い維持  
国産はと麦  
100%使用

9月25日発売

※1 機能性関与成分：大豆イソフラボン  
(アグリコン換算) 25mg  
届出番号：E11

※2 機能性関与成分：パニリン酸 0.25mg  
届出番号：H637  
※3 肌が乾燥しがちなミドルエイジの方の

ノンカフェイン健康茶を新たなカテゴリーに

# タリーズブランドの展開

## TULLY'S COFFEE



タリーズコーヒーブランド

上半期累計販売数量過去最高

▶好調を牽引する無糖コーヒー2強+ **キリマンジャロBLACK**

BARISTA'S  
BLACK



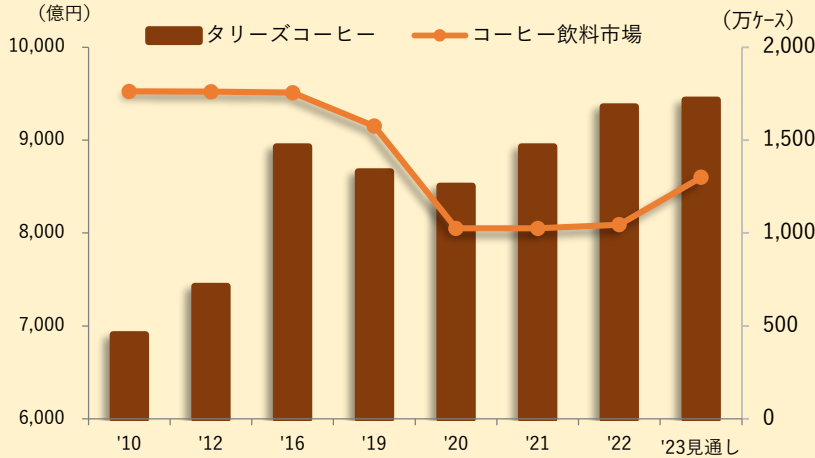
BARISTA'S  
無糖LATTE



BARISTA'S  
キリマンジャロBLACK



### ○コーヒー飲料市場の状況



資料：伊藤園（市場：各年1月～12月/販売金額 伊藤園：5月～4月/販売数量）

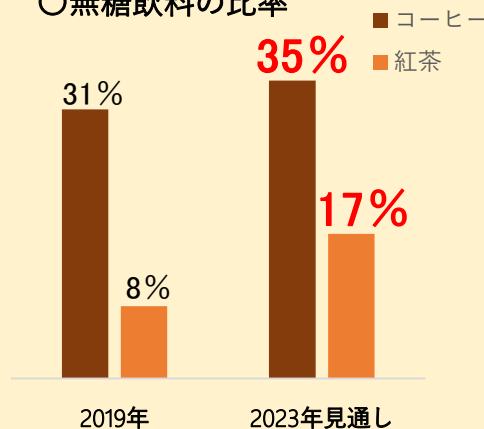
## タリーズブランド上半期新製品 ～お客様の嗜好に添う製品をショップクオリティで提案～



●9月18日発売  
希釈タイプ340ml  
ESPRESSO BASE  
無糖/甘さひかえめ

●9月18日発売  
ドリップバッグ5袋入  
BARISTA'S ROAST  
BLACK/キリマンジャロブレンド

### ○無糖飲料の比率



資料:伊藤園 インテージ SRI+(期間：各年1月～12月計/金額ベース)



## TULLY'S & TEA



●9月11日発売  
ティーバッグ20P  
ダージリンブレンド  
オリジナル



●9月11日発売  
ティーバッグ20P  
シトラスアールグレイ



●10月9日発売  
ティーバッグ20P  
はちみつレモン&ジンジャー



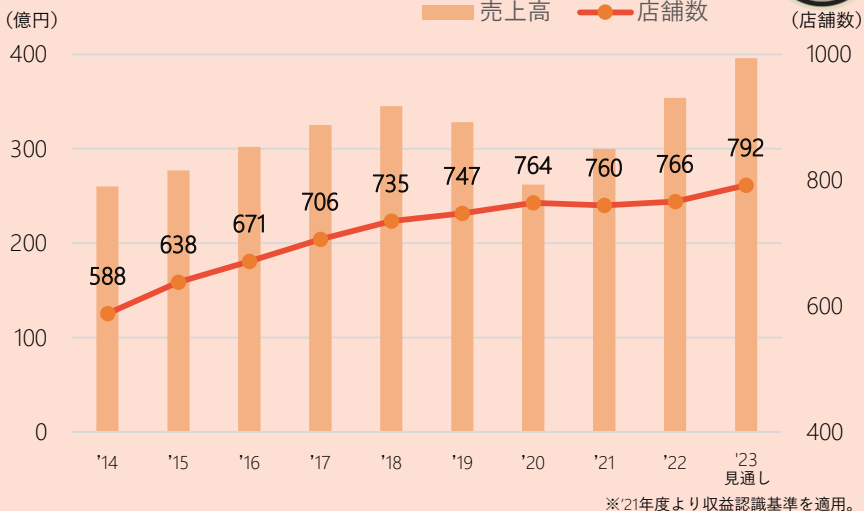
2024年春  
新製品発売予定



## タリーズコーヒージャパンの状況



売上高(※)及び展開店舗数推移



2023年度上半期 人流回復により好調に推移

▶2023年10月末現在

777店舗 (純増11店舗/対前期末)

2023年度の取組み

店舗開発の強化



コンパクトタイプ  
タリーズコーヒーセレクト  
上半期4店舗出店



紅茶も充実  
& TEAショップ  
上半期7店舗出店

タリーズ×伊藤園  
合同ブランド発表会を実施

「2023 コスタリカ マイクロロット」  
10月11日発売



金賞受賞ロットを商品化  
全国7エリアに分けて限定販売

※ごく小さな製造単位のこと

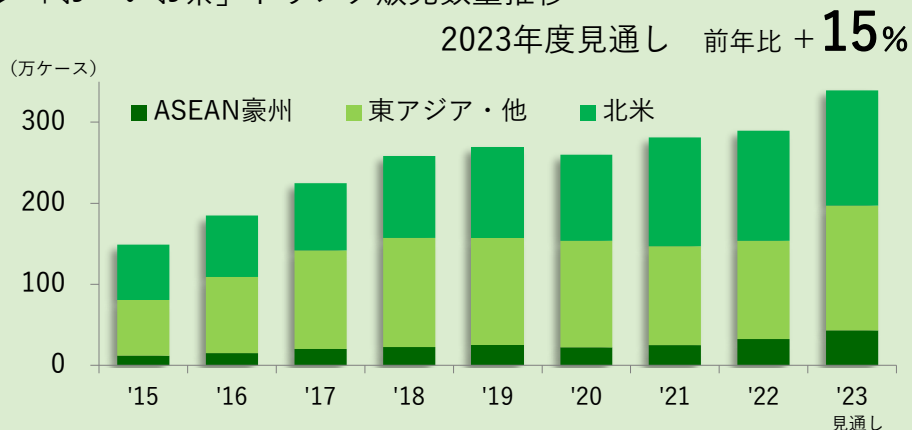
- 高品質な生産者『ドータ農協』との取組み
- 2008年からスタートし今年で16年目
- タリーズ社の開発担当者が現地でカップング審査
- 生産地との取組みを維持・強化
- 生産者ごとの豆の個性をお楽しみいただける商品を店舗で限定販売

新たな取組みを強化し、タリーズのブランド価値向上を目指す

# 「お〜いお茶」のグローバルブランド化

## 「お〜いお茶」ドリンクは全国各地域で好調

### ▶ 「お〜いお茶」ドリンク販売数量推移



### ▶ 「お〜いお茶」ドリンク販売数量

2023年度 上半期実績 (対前年上半期比)

**北米+6% 中国+18% シンガポール+76%**

資料：伊藤園 (期間：2023年5月~10月/数量ベース)



全国各地域でコロナ禍から回復し、販売数量は好調に推移

### ▶ ティーバッグ製品販売数量 (対前年上半期比)

2023年度 上半期実績

**北米+11% シンガポール+8%**

資料：伊藤園 (期間：2023年5月~10月/数量ベース)



ドリンクとリーフ+販促ツール  
「お〜いお茶」ブランドを訴求



## 進出国各国の取組状況

### ▶ より一層の「ITO EN」=日本ブランドの訴求



1 1月~シンガポール・タイ

「お〜いお茶」専用の竹ボトルにて販売

### ▶ 「お〜いお茶」販売国(地域)拡大を加速化

世界の**40**の国・地域で販売、今後も拡大予定



## ティーバッグ販売強化

### ▶ グローバルティーバッグ 「MATCHA GREEN TEA」 全面リニューアル ※



- ティーバッグ素材を環境に配慮した「生分解性フィルター」へ
- 美しい緑色の水色をさらに向上
- ナチュラルなパッケージにデザイン刷新

※2024年1月～アメリカから順次切り替え

### ▶ 各国各地域共通の売れる販促プロモーション



日系ホテルのVIP客室用  
お〜いお茶パンフレット付  
ティーバッグセット導入

ドリンクとセットでティーバッグや抹茶を展示会にて紹介

## 抹茶販売強化 各国各地域で業務用の販路が広がり好調

### 抹茶輸出量

2023年度上半期実績

前年比 **+33%**

資料：伊藤園（期間：2023年5月～10月/量ベース）

### ▶ 10月よりハワイで有機抹茶販売開始



- ・100%日本産有機抹茶
- ・ラテやスムージー、お料理にも最適



ハワイ日系レストラン  
抹茶パウダー導入

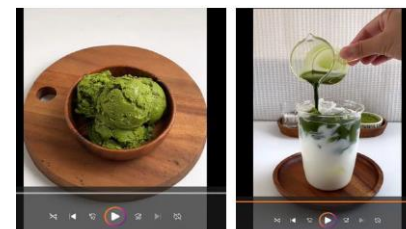
### ▶ 各国展示会やイベントで抹茶紹介



タイ  
抹茶ラテ好評



ドイツ  
ドリンクとセット販売



販促用ビデオを制作、抹茶の認知度向上に繋げる

世界のティーカンパニーに向けてお茶のITO ENの認知強化

# 世界のティーカンパニーへの取組み

世界各国各地域ごとの「お〜いお茶」と緑茶文化・日本文化の浸透で世界のティーカンパニーへ

## ▶ ヨーロッパへの本格進出

2024年4月1日 ドイツに子会社設立  
ドイツ国内で飲料を委託生産し、欧州主要国で販売



※イメージ

会社名：ITO EN Europe GmbH  
所在地：ドイツ連邦共和国  
デュッセルドルフ市  
事業概要：伊藤園ブランド製品の輸入  
および販売  
販売先：ドイツを中心に欧州主要国

## ▶ 世界各地の認証マーク付 世界各地のお客様への安心感



伊藤園の強み「茶産地育成事業」によって高品質な原料確保

## ▶ 販売好調のベトナムへ本格進出

2024年4月1日 ベトナムに子会社設立

ベトナム国内  
上半期対前年実績

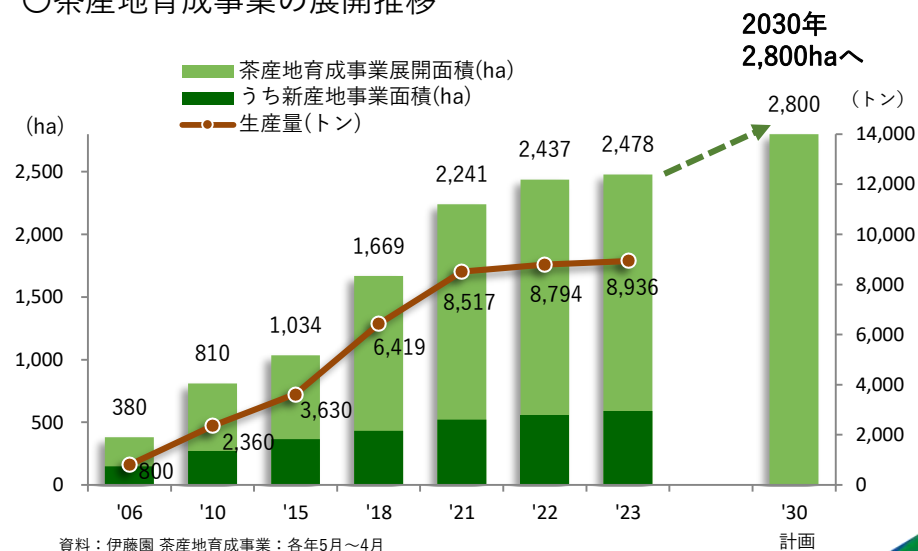
ドリンク	+32%	ティーバッグ	+28%
------	------	--------	------

資料：伊藤園（期間：2023年5月～10月/数量ベース）

会社名：ITO EN VIETNAM CO.,LTD  
所在地：ベトナム社会主義共和国  
ホーチミン市  
事業概要：伊藤園ブランド製品の輸入  
および販売  
販売先：ベトナム国内



## ○ 茶産地育成事業の展開推移



# サステナビリティ経営の推進

持続可能な社会へ貢献し、おいしさと健康を軸に持続的な成長



## 原料

### ○茶産地育成事業

- ・ 荒廃農地の茶畑の転換
- ・ 減農薬、有機栽培技術の開発
- ・ 環境配慮型農業の実践と栽培技術
- ・ バイオ炭の散布試験



「お〜いお茶」  
茶産地育成事業100%へ



## 容器包装

### ○容器包装 3 R の取組み

- ・ 資材の軽量化
- ・ ペットボトルでリサイクル素材等を使用
- ・ 環境配慮資材の採用
- 空き容器の回収



## 製造委託先工場

- ・ 製造時の省エネルギー
- ・ 水使用量の低減
- ・ CO<sub>2</sub> 排出量の少ない荒茶工場の稼働



## 茶殻リサイクルシステム

- ・ 茶殻をアップサイクルして二次加工品へ
- ・ 省資源、CO<sub>2</sub>の固定化
- ・ 茶殻の堆肥化



- 緑茶の健康性の研究と発信、その研究を活かした製品提案
- 各国・地域の食文化に合わせたマーケティング、無糖茶飲用習慣の提案
- 地域の社会・環境課題解決への貢献

「お〜いお茶」のグローバルブランド化

## 参考資料

# 参考：茶産地育成事業の進化

原料の安定調達

課題

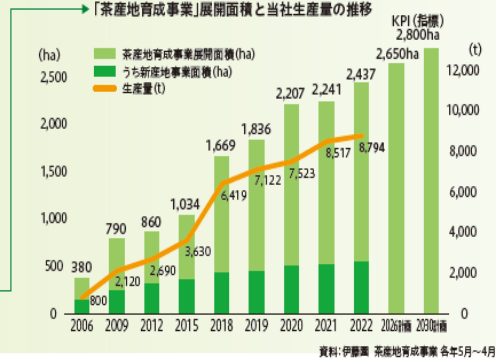
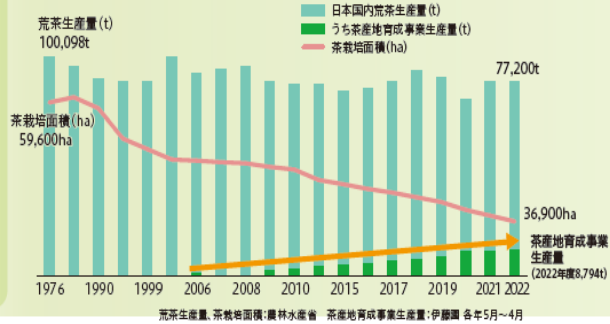
茶栽培面積と生産量減少、  
茶生産者の経営の安定化

事業機会

緑茶飲料市場の成長

1976年から  
「茶産地育成事業」を開始し、  
茶生産者の安定経営と  
高品質原料の安定調達

茶生産量、茶栽培面積減少に対し、「茶産地育成事業」は展開規模を拡大



- 伊藤園にとっての価値
- 高品質原料の安定調達、低コスト化
  - 当社事業の強固な基盤
  - 「お〜いお茶」などの品質向上
- 社会にとっての価値
- 荒廃農地の有効活用
  - 全量買取りによる茶生産者の安定経営、就農者の若年化、後継者不足解消
  - 栽培技術、ノウハウの継承・生産の低コスト化
  - 雇用創出、地域活性化
- 10ha当たり労働時間 44時間 従業員平均年齢 45歳  
(新産地①: 1時間平均約12時間②) (新産地③: 1箇内平均約7.5時間④)

原料の多様化、高付加価値化

課題

緑茶飲料市場拡大による  
急須でいれるお茶の需要減少

事業機会

嗜好の多様化、健康志向

多種多様な特徴のある  
原料開発

茶畑から取組む製品開発 「お〜いお茶」飲料専用原料茶を開発

契約取引による全量買取り 一番茶、二番茶から秋冬番茶まで

多様な用途にあわせた  
抹茶原料の開発 てん茶(抹茶の原料となる茶葉)

一番茶から秋冬番茶までの原料茶を活かし切る製品開発力と販売力

独自の原料加工技術  
(火入れ、ブレンド等)  
製品開発力

抹茶の製造加工技術  
(ブレンド、粉砕等)

- リーフ  
高級茶、日常茶、  
簡便性(ティーバッグ、インスタント、固形茶)
- 飲料  
ペットボトル、缶、紙  
■ 特定保健用食品・機能性表示食品  
飲料、リーフ、サプリメント
- 海外向け製品  
飲料、ティーバッグ、抹茶等
- 抹茶製品  
お点前用から菓子等の食材向けまで  
家庭内やモバイル需要等、  
あらゆる飲用シーンに対応するラインアップ

- 伊藤園にとっての価値
- リーフ市場と  
緑茶飲料市場におけるシェア拡大
- 社会にとっての価値
- ライフスタイルにあわせた製品の  
選択肢の多様化
  - おいしさ、健康性の享受
  - 茶文化の継承

原料の海外対応・環境対応

課題

海外各国の品質基準への対応、  
気候変動への対応

事業機会

世界的な健康志向の高まり

減農薬、有機栽培の拡大、  
環境配慮型農業の取組み強化

多様な社外関係者との協働による課題解決

減農薬、有機栽培技術開発



農薬を使わない「蒸気防除・除草機」  
の実用化に向けた取組み

茶畑のGHG削減への挑戦



バイオマス発電関連会社、茶生産者と  
共同してバイオ炭®の散布試験を実施  
※木や竹などを炭化したもの

DXによる、経験の浅い就農者支援、農業経営安定化



電機機器メーカーと共同開発したシステムで、  
摘採時期や品質の見極めをAI画像解析で支援

- 伊藤園にとっての価値
- 緑茶、抹茶原料の海外輸出機会の拡大
- 社会にとっての価値
- 茶産地の持続可能性の向上
- 茶産地育成事業の茶生産者 GAP認証取得100%<sup>※5</sup>

※1 新産地の一例 ※2 農林水産省「茶をめぐる情勢」 ※3 各新産地の正社員平均年齢を加算平均したものと(2021年度) ※4 国内農業従事者(出典 農林水産省)  
 ※5 食の安全や環境保全に取組む農業に与えられるGAP認証制度には、世界基準である「グローバルGAP」のほか、日本GAP協会が開発する「JGAP」(ASIA GAPI)などがあり、ここにこれら3つの認証のうち、いずれかを取得した農産物を指します。

# 参考：中長期環境目標と取組み

	現在の取組み	目標									
気候変動への対応	<p>TCFD提言への賛同</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シナリオ分析と開示</li> <li>シナリオ分析結果を踏まえた対応策の検討と実施</li> </ul> <p>GHG排出量の削減に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電動車（HV・EV）の導入、LED導入、太陽光発電設備導入、再生可能エネルギーの導入</li> </ul>	<p>GHG排出量の削減（対2018年度）</p> <table border="1"> <tr> <th>2022年度実績</th> <th>2030年度</th> <th>2050年度</th> </tr> <tr> <td>Scope1、2 -17.7%</td> <td>Scope1、2 総量50%削減</td> <td>カーボン ニュートラル</td> </tr> <tr> <td>Scope3 -16.3%</td> <td>Scope3 総量20%削減</td> <td></td> </tr> </table>	2022年度実績	2030年度	2050年度	Scope1、2 -17.7%	Scope1、2 総量50%削減	カーボン ニュートラル	Scope3 -16.3%	Scope3 総量20%削減	
2022年度実績	2030年度	2050年度									
Scope1、2 -17.7%	Scope1、2 総量50%削減	カーボン ニュートラル									
Scope3 -16.3%	Scope3 総量20%削減										
水資源の保全	<p>水使用量の削減に向けた取組み</p> <p>（水の循環利用の促進、製品アイテム集約による水使用量の削減）</p> <p>水リスクと水ストレスが事業に与える影響把握</p>	<p>水使用量の削減（原単位*/対2018年度）</p> <table border="1"> <tr> <th>2022年度実績</th> <th>2030年度</th> </tr> <tr> <td>10.8%増加</td> <td>16%削減</td> </tr> </table> <p>*生産1klあたりの水使用量</p>	2022年度実績	2030年度	10.8%増加	16%削減					
2022年度実績	2030年度										
10.8%増加	16%削減										
生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性保全に関する方針の改定</li> <li>事業における依存と影響の把握</li> </ul>	生物多様性の保全と回復									
容器包装・資源循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>容器包装3Rの推進</li> <li>水平リサイクル（ボトルtoボトル）による資源循環の推進</li> <li>茶殻リサイクルシステムの推進</li> </ul>	<p>ペットボトル製品のリサイクル素材等使用率</p> <table border="1"> <tr> <th>2022年度実績</th> <th>2030年度</th> </tr> <tr> <td>15%</td> <td>全ペットボトル製品100%</td> </tr> </table>	2022年度実績	2030年度	15%	全ペットボトル製品100%					
2022年度実績	2030年度										
15%	全ペットボトル製品100%										

※Scope1～3排出量の集計範囲は、(株)伊藤園、伊藤園産業(株)、タリーズコーヒージャパン(株)、チチヤス(株)を対象としています。



伊藤園神戸工場での太陽光パネルの設置  
(2023年1月)

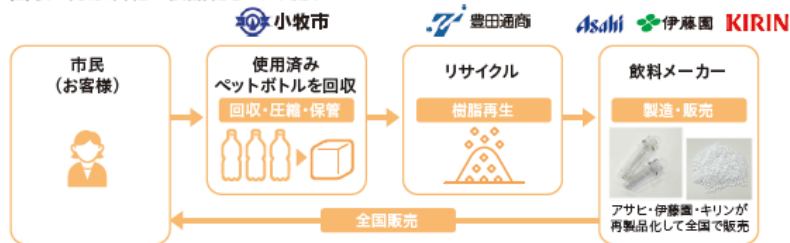


業界初「EVボトルカー(茶殻配合軽量パネル搭載型)」  
(2023年10月)



(イメージ画像)

回収・再原料化・製品化までの流れ



ペットボトルの水平リサイクルに関する連携協定  
(2023年9月)



# 参考：伊藤園（単独）の状況

## 飲料カテゴリー別販売実績

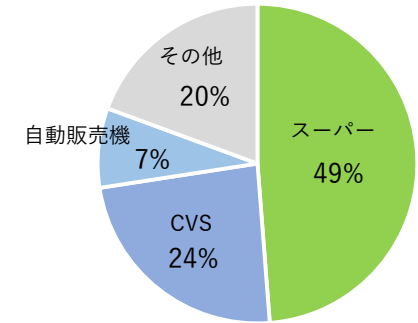
(単位：万ケース)

2024年4月期	第1四半期(5月～7月)			第2四半期(8月～10月)			2024年4月期 計画		
	実績	構成比	増減率	実績	構成比	増減率	計画	構成比	増減率
飲料 (ドリンク)	6,093	100.0%	△ 3%	6,075	100.0%	△ 1%	21,447	100.0%	△ 2%
茶系飲料 計	4,351	71.4%	△ 3%	4,355	71.7%	+ 0%	15,020	70.0%	△ 2%
日本茶	3,942	64.7%	△ 5%	3,949	65.0%	△ 0%	13,537	63.1%	△ 2%
中国茶	242	4.0%	+ 6%	256	4.2%	+ 7%	885	4.1%	+ 6%
その他	166	2.7%	+ 33%	149	2.5%	△ 5%	597	2.8%	+ 3%
野菜飲料	656	10.8%	△ 10%	651	10.7%	△ 9%	2,451	11.4%	△ 5%
コーヒー飲料	453	7.4%	+ 3%	437	7.2%	△ 3%	1,738	8.1%	△ 1%
ミネラルウォーター	175	2.9%	△ 11%	177	2.9%	△ 4%	611	2.9%	△ 8%
炭酸飲料	180	3.0%	+ 15%	177	2.9%	+ 10%	595	2.8%	+ 11%
果実飲料	141	2.3%	+ 11%	131	2.2%	+ 14%	513	2.4%	+ 13%
その他飲料	135	2.2%	+ 3%	145	2.4%	△ 6%	516	2.4%	△ 5%

## 飲料チャネル別構成比

上半期(2023年5月-2023年10月) (数量ベース)

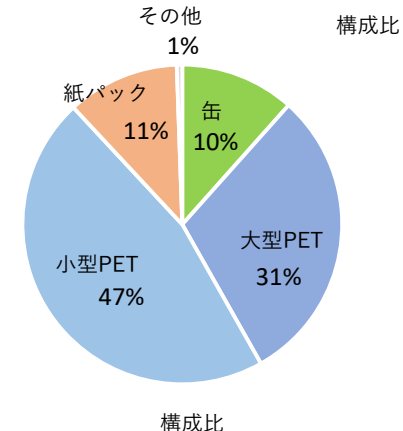
	構成比対前年	増減率
スーパー	△ 2 pt	△ 6%
CVS	+ 2 pt	+ 5%
自動販売機	△ 1 pt	△ 10%
その他	+ 1 pt	+ 4%



## 飲料容器別販売実績

(単位：万ケース)

2024年4月期	第1四半期(5月～7月)		第2四半期(8月～10月)		上半期(5月～10月)		
	実績	増減率	実績	増減率	実績	構成比対前年	増減率
飲料販売数量	6,093	△ 3%	6,075	△ 1%	12,169	+ 0 pt	△ 2%
缶	622	△ 6%	619	△ 10%	1,242	+ 0 pt	△ 8%
大型PET	1,871	△ 8%	1,943	+ 1%	3,814	+ 0 pt	△ 3%
小型PET	2,887	+ 1%	2,804	+ 1%	5,692	△ 0 pt	+ 1%
紙パック	678	△ 4%	671	△ 4%	1,350	+ 0 pt	△ 4%
その他	34	+ 0%	35	+ 15%	70	△ 0 pt	+ 7%

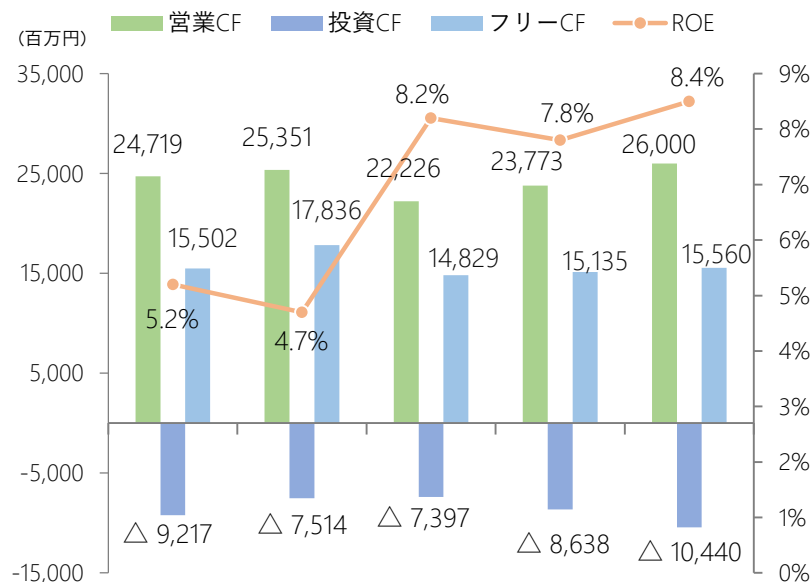


## 連結貸借対照表 (前年同月比較)

(単位：百万円)

	2022年10月末	2023年10月末	増減額
<b>流動資産</b>	232,934	247,527	14,593
現金及び預金	100,525	114,136	13,610
売上債権・棚卸資産	119,741	120,065	324
<b>有形固定資産</b>	74,757	73,479	△ 1,278
土地	23,344	23,229	△ 115
リース資産	7,146	5,398	△ 1,747
その他	44,266	44,851	584
<b>無形固定資産</b>	8,484	8,060	△ 423
のれん	3,078	1,997	△ 1,081
投資その他資産	22,175	24,647	2,471
<b>資産合計</b>	338,351	353,714	15,362
<b>流動負債</b>	76,813	93,982	17,169
買掛金	30,439	31,881	1,442
社債	-	10,000	10,000
短期借入金	2,532	1,737	△ 794
リース債務	2,370	1,885	△ 485
未払法人税等	4,520	6,092	1,572
<b>固定負債</b>	90,783	76,798	△ 13,985
社債	10,000	-	△ 10,000
長期借入金	60,441	59,467	△ 974
リース債務	4,542	3,063	△ 1,479
<b>負債合計</b>	167,597	170,781	3,183
<b>純資産合計</b>	170,754	182,932	12,178

## 連結キャッシュ・フローの推移



(単位：百万円)	'20/4	'21/4	'22/4	'23/4	'24/4予測
設備投資額	9,990	7,199	7,511	7,259	9,855
減価償却費	7,022	7,255	7,246	7,582	6,921
リース償却費	6,081	5,171	4,035	2,771	1,651
リース債務(返済)	△ 4,679	△ 3,691	△ 2,732	△ 2,278	△ 1,879

格付の状況	A+
社債発行登録(普通社債)	400億円

自己資本比率	'22/10	50.1%
	'23/10	51.3%



# 伊藤園

---

## 自然が好きです。

当資料は、あくまで伊藤園をより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

さらに当資料に記載されている市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、将来の予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なしに変更することがありますのでご注意ください。